



Press Information

VPR16-039

2016年5月23日(月)

フォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社

ラリー・ポルトガルでミケルセン選手とオジェ選手が2位、3位フィニッシュ

- フォルクスワーゲン・ポロ R WRC がマニュファクチャラー部門のリードを拡大。
- ダブル表彰台によって、通算表彰台獲得数を76回に伸ばす。



2016年世界ラリー選手権(WRC)第5戦「ラリー・ポルトガル」は、5月19日～22日にポルトガル北部の代表都市ポルトの北、マトシニョスを中心に開催されました。

フォルクスワーゲン・モータースポーツのアンドレアス ミケルセン選手は、最終日曜日にチームメイトのセバスチャン オジェ選手を逆転して2位でフィニッシュ、ドライバー・チャンピオンシップ2位にポジションを上げました。オジェ選手は、冷静な判断で3位完走し、タイトル争いに向けたリードをさらに拡大しました。ヤリ・マティ ラトバラ選手は、メカトラブルに見舞われながらもカムバックし、チームに貴重なポイントをもたらしました。

「ラリー・ポルトガル」は、8月下旬の第9戦「ラリー・ドイチェランド」まで続くヨーロッパ・ラウンドの開幕を告げるグラベル(非舗装路)ラリーです。総走行距離1,683.90km、19カ所のスペシャルステージ(SS:競技区間)距離368.00kmの2016年イベントのルート設定は、昨年とほぼ同一です。

フォルクスワーゲン・ポロ R WRC は、昨年のラリー・ポルトガルで1-2-3フィニッシュを達成しています。今年も好成績が期待されるものの、シェイクダウンでは4メーカーが1秒以内にひしめき合い、激しいバトルが必至のレースとなりました。路面にはパウダー状の土が滞積していて、ラリーカーが走行すると濛々と土煙が上がり、迫力あるシーンが演出されます。SS17/19の「ファフェ」は、WRC屈指の大ジャンプがあることで特に有名です。どのSSも、初回は柔らかい路面に足を取られ、2度目は岩が露出してタイヤにダメージを与えるため、タイヤ選択とスタート順がカギを握ります。

木曜午後のセレモニアル・スタートに続いて行われたSS1は、ラリークロス・サーキットで開催されました。2台並走、アスファルトとグラベルが混在する特殊なサーキットでトップタイムをマークしたのはオジェ選手でした。ミケルセン選手とラトバラ選手も4位と5位につけ、絶好のスタートを切りました。

金曜日は、ポルトの北にレイアウトされた6カ所のSSとポルト市内の2カ所が戦いの舞台。1番スタートとなったオジェ選手は、滑りやすい路面に苦戦しながらも2番手タイム。ミケルセン選手は4番手でした。一方、パワーステアリングのトラブルに見舞われたラトバラ選手は首位から4分近く遅れを取りました。

土曜日の 6SS は、ポルト東に設定されています。マルセロ レベロ デ ソウザ ポルトガル大統領がフォルクスワーゲン陣営を訪問、クルーやメカニックを激励しました。また、フォルクスワーゲン乗用車ブランド取締役会会長のヘルベルト ディースも現地を訪れ、白熱する戦いを観戦しました。オジェ選手とミケルセン選手は、安定した走りを見せて、2 位と 3 位を維持しています。昨日、重いステアリングと格闘して両掌にマメを作ったラトバラ選手は、本来のパフォーマンスを取り戻し、前日から順位を 3 つ上げて 6 位につけました。

最終日となる日曜日の舞台は、ポルト北東の 3 カ所の SS でした。フォルクスワーゲン・チームは、現状維持の戦略で最終日をスタートしましたが、オジェ選手がスローパンクチャーに見舞われたため、ミケルセン選手がチームメイトをパスして 2 位でフィニッシュしました。オジェ選手も最後まで粘って表彰台に登壇、ディフェンディングチャンピオンの貫禄を示しました。

第 6 戦「ラリー・イタリア・サルディニア」は、6 月 9 日～12 日に地中海に浮かぶサルディニア島のアルゲロを中心に開催されます。

[終了後のコメント]

■ フォルクスワーゲン モータースポーツ ディレクター: ヨースト カピート

「選手権のリードを拡大することができたことが幸いです。スタート順を考えると、ミケルセンとオジェは最高の仕事をしてくれたと思います。」

■ カー#1: セバスチャン オジェ(フランス) 最終結果: 3 位

「身体的に非常に厳しいラリーでした。2 位でフィニッシュできればもっと良かったですが、スローパンクチャーが発生したため、リスクは冒せませんでした。」

■ カー#2: ヤリ-マティ ラトバラ(フィンランド) 最終結果: 6 位

「6 位で完走してチームに貢献できたことが嬉しいです。スタッフに感謝の意を表するとともに、次戦に向けて気持ちを切り替えます。」

■ カー#9: アンドレアス ミケルセン(ノルウェー) 最終結果: 2 位

「日を追う毎にパフォーマンスが向上しました。特に土日は完璧なセットアップで走行できました。おかげで、ドライバーズ・チャンピオンシップでも 2 位にポジションを上げられました。」

■ FIA 世界ラリー選手権 第 5 戦ラリー・ポルトガル最終結果

1. クリス ミーク/ポール ナグル(シトロエン)	3 時間 59 分 1 秒 0
2. アンドレアス ミケルセン/アンダース イェーガー(フォルクスワーゲン)	+29 秒 7
3. セバスチャン オジェ/ジュリアン イングラシア(フォルクスワーゲン)	+34 秒 5
6. ヤリ-マティ ラトバラ/ミーカ アンティラ(フォルクスワーゲン)	+4 分 6 秒 9

■ FIA 世界ラリー選手権 マニュファクチャラーズ選手権ランキング(第 4 戦終了時点)

1. フォルクスワーゲン・モータースポーツ	145
2. ヒュンダイ・モータースポーツ	96
3. M-スポーツ	82

■ FIA 世界ラリー選手権 ドライバーズ選手権ランキング(第 5 戦終了時点)

1. セバスチャン オジェ(フォルクスワーゲン)	114
2. アンドレアス ミケルセン(フォルクスワーゲン)	67
3. マッズ オストベルグ(フォード)	58
6. ヤリ-マティ ラトバラ(フォルクスワーゲン)	37

* 結果はすべて暫定。